

高橋たじま 県政レポート

2021
Vol.17チャレンジBLOG!
更新中

令和元年9月の岩手県議会議員選挙【盛岡選挙区】におきまして、4期目の当選をさせて頂き、早くも今年の9月で2年が経過致します。

先に開会された6月定例会においては、11回目の一般質問に登壇を致しました。新型コロナウイルス感染症対策、観光振興、ウッドショック対策、スポーツ振興、広域ごみ処理施設整備計画等々について質しました。質疑の一部を下記に掲載致します。

新型コロナウイルス感染症が住民の命と健康はもとより、社会経済にも極めて大きな被害を及ぼしている状況にあることから、ワクチン接種の安全かつ早期の実施が望まれるところであります。限られた医療資源の中でスピーディーな体制を構築していく必要があります。感染拡大の防止と社会経済活動の両立に向けて努めて参ります。

県議会議員の一人として、『県民目線の政治』で果敢に取り組んで参りますので、引き続きのご指導をよろしくお願い申し上げます。

ご意見、ご要望等をお寄せください。

T020-0021 盛岡市中央通3-3-2 第1菱和ビル3F

TEL 019-604-3555 FAX 019-604-3556

E-mail tajima.takahashi@gmail.com HP http://www.tajima-t.net

編集・発行 岩手県議会議員 高橋たじま事務所

●生年月日 昭和50年8月30日 岩手県盛岡市生まれ

●経歴 盛岡市立繫小学校／盛岡市立繫中学校／盛岡市立高等学校(硬式野球部)／東洋大学法学部法律学科／平成13年5月 高清建設(株)入社／平成20年2月 衆議院議員 隅 猛 秘書／平成22年7月 県議会議員選挙盛岡選挙区補欠選挙 初当選／現在4期目

●家族 妻・一男・一女(子育て奮闘中!!)

若年層への優先接種について

若年層へのワクチン接種についてですが、議員御指摘のとおり、若年層を含む行動が活発な現役世代の感染の拡大や、飲食店、職場などクラスターの多様化も見られるところであり、これらに対応していくためには、それぞれの地域での特性や感染状況を踏まえながら適切な対策を講じていく必要があると考えています。

こうしたことから新型コロナワクチンの一般接種についても、市町村がそれぞれの判断により、例えば、保育施設等従事者を優先するなど、地域



新型コロナウイルス感染症対策について

の実情に応じた対応を行っています。

県としては、市町村の接種体制を補完するため、県の集団接種を実施しているところですが、現役世代を含む今後の接種がさらに加速されよう、今週末から市町村が発行する接種券をお持ちの18歳以上65歳未満の方も対象とすることから、そうした機会を積極的に活用いただくよう、市町村や関係機関等と連携しながら周知を図っています。

また今般、国から主に現役世代が対象となる職域接種の支援策が示されたところであります。県としても、本定例会に追加提案を予定している補正予算案に盛り込むべく現在準備しています。

令和4年2月末からの大幅な前倒しとなり、限られた医療資源の下で接種を加速させるためには、接種促進のための取組の強化が必要になります。

当初、政府で示していた令和4年2月末からの大幅な前倒しとなり、限られた医療資源の下で接種を加速させるためには、接種促進のための取組の強化が必要になります。

観光振興について

ワクチン接種の考え方と今後の見通しについて

いわて旅応援プロジェクト事業が一時停止になつた場合の再開基準について、県ではどのように考えている

【商工労働観光部長 答弁】

この事業については、本県において感染拡大があった場合には、事業を一時停止することとし、直近1週

種完了の政府目標に対する知事の所感を伺います。
【達増知事 答弁】

まず、ワクチン接種の見通しについてですが、6月18日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2021」、いわゆる骨太の方針において、新型コロナワクチン接種を希望する全ての対象者の接種を、本年10月から11月にかけて終えることをを目指すこととされたところです。

当初、政府で示していた令和4年2月末からの大幅な前倒しとなり、限られた医療資源の下で接種を加速させるためには、接種促進のための取組の強化が必要になります。

県としては、県民の皆様が一日も早く安心して生活ができるよう、市町村が一般接種を迅速に進められるよう支援していくとともに、県が実施する集団接種の継続及び拡充や、医療機関による個別接種の促進等に取り組むこととし、本定例会において補正予算案を追加提案する準備を鋭意進めています。

間の新規感染者数が人口10万人当たり15人を超えた場合などの基準を、あらかじめ公表しております。

この後、仮に一時停止があつた場合の再開に当たっては、一時停止の基準を下回つたとしても、感染が再拡大する恐れがない状況であることなどを見極めながら、新型コロナウイルス感染症対策本部

あつた場合の再開に当たつては、一時停止の基準を下回つたとしても、感染が再拡大する恐れがない状況であることなどを見極めながら、新型コロナウイルス感染症対策本部

の対応も踏まえて総合的に判断していく必要があります。変異株の流行やクラスターの発生をはじめ、感染拡大にも様々な形があり、あらかじめ、再開基準を示すことは難しいと考えておりますが、再開に当たつては、宿泊施設や利用する県民の方々に混乱が生じないように配慮して参ります。

県央ブロックのごみ処理施設の整備計画について

県は県央ブロックのごみ処理施設の整備計画の現在の状況をどう認識し、関与していくのか。

企画理事兼環境生活部長 答弁

県では、一般廃棄物の処理を担う市町村と協議し、平成11年に「岩手県ごみ処理広域化計画」を策定したところでですが、本年3月、人口減少に伴うごみ排出量の減少などに対応した持続可能な処理体制を確保するため、県内6ブロックを維持した上で広域化計画を改定したところです。

県央ブロックにおいては、これまで、8市町が広域化に向けた協議や検討を重ねており、先般の協議会において整備予定地が選定されたところであります。

また、今後、事業を進める各段階において、地域への説明や意見交換を繰り返し行つていくと聞いています。

県としては、引き続き、県



商工建設委員会での質疑



築川ダム視察



最先端のヘルステック技術の調査(セルスペクト株)



三陸沿岸道路の工事進捗状況調査

6月22日定例会 51億1,800万円 令和3年度3号補正

●新型コロナワクチン接種体制確保事業費 25億2,200万円

県が行う集団接種の実施や個別接種に係る診療所等に対する交付金等ワクチン接種体制の確保に要する経費

●新型コロナウイルス感染症入院施設等確保事業費補助 8,000万円

退院基準に達した患者を受け入れる後方支援医療機関の受入体制の整備等に要する経費を補助

●生活福祉資金貸付事業推進費補助 3億7,200万円

特例貸付を利用できない生活困窮者に対する支援金の給付に要する経費

●いわて飲食店応援事業費 1億2,100万円

「いわてGo To Eat キャンペーン」の第2弾として、感染防止対策認証を取得した飲食店を対象とする食事券発行等に要する経費

●買うなら岩手のもの運動開催事業費 7,600万円

県産品の消費喚起やネット通販への参入支援、県産衣料品の販路拡大に要する経費

7月6日定例会 29億5,400万円 令和3年度4号補正

●新型コロナワクチン接種体制確保事業費 4億7,800万円

11月末の接種完了のため、県による集団接種に要する経費について、所要額を補正

●新型コロナワクチン個別接種促進交付金 16億6,100万円

8月以降の一般接種においても一定数の接種を行う診療所等に対し支援

●新型コロナワクチン接種時間外等派遣事業費補助 6億2,000万円

8月以降の一般接種においても特別な接種体制を確保する病院等に対し支援

●新型コロナワクチン職域接種事業費補助 2億円

外部の医療機関が出張して実施する職域接種を行う中小企業等に対し支援

その他の質問項目

■ 第2次岩手県地球温暖化対策実行計画について
■ 公共施設等の管理について

■ 野生鳥獣対策について
■ 林業振興について

■ 電子県庁について
■ スポーツ振興について